



開物成務

郡山市立開成小学校

学校便り No.11

平成29年6月19日

文責：校長 伊藤孝行

緑の少年団活動

6月11日(日)に、緑の少年団29名と一緒に伊達市にある霊山子どもの村で行われた「全国植樹祭ふくしま2018」に参加してきました。全国植樹祭の本番は来年で、今年はプレ大会の開催でした。



子どもたちは式典に参加し、福島県知事のお話を聞いたり、他の緑の少年団の活動報告を聞いたりして緑の大切さを学びました。



また、子どもたちは、大会を記念した植樹にも参加し、荒れた急斜面にシャベルで穴を掘り苗木を植える活動に取り組みました。

帰りのバスの中で緑の少年団の子どもたちに二つのこととお話ししました。

○ 樹木は大きくなるまで20年から30年くらいかかります。木を植えるということは、次の世代のために緑を豊かにするという事です。

○ おとなになったら、今日、自分が植えた苗木の成長を見に来てほしいと思います。

緑の少年団の活動に限ったことではありませんが、子どもたちが様々な大会に参加する際、早朝よりお弁当を作って持たせていた

だいたり、送迎をしていただいたり、子どもたちの活動を全面に支えてくださる保護者の皆様に感謝申し上げます。



上の写真は、霊山子どもの村名物のジャンボ滑り台で遊んでいる様子です。

なかよし開成っ子

15日(木)に縦割り活動で行う「なかよし開成っ子」を行いました。



1年生から6年生までが、方部別に縦割り班を作り、学校から開成山公園まで移動して二つの活動を行いました。ひとつは、通学路と開成山公園のごみ拾いボランティアで、もうひとつは、縦割り班でお昼を食べたり遊んだりすることでした。

